ＪＲ総連通信

２０２２年3月3日　№１５１８

全日本鉄道労働組合総連合会（ＪＲ総連）　http://www.jr-souren.com

2022JR総連春闘　No. 13

基本給 1,000 円増額の有額回答を引き出すも、組合員の負託に応えるため、申し入れ通り 6,000 円を求めて再要求!!

聚楽労組第１回団体交渉開催！

５連協の先陣を切って、本日、聚楽労組は、第１回団体交渉をおこないました。

会社は、「コロナ禍によって観光産業は大変厳しい状況にあり、業績および財務状況も同様に厳しい状況にある」としつつも、この間のコロナ対応など、組合員の奮闘に対して、基本給 1,000 円の有額回答を示しました。

しかし組合は、「要求額は 6,000 円であり、昨年は増額なしに終わった。この間の組合員の苦労や生活を考えると会社回答には乖離がある」として再考を求めました。

聚楽労組はこの間、「コロナ禍の業績悪化であろうとも、***労働組合とは、組合員の声を要求しなくては労働組合ではない！***」と、今次春闘にかける思いを語り、統一要求・統一闘争に決起してくれていました。

今回の聚楽労組の奮闘は、その言葉通りであり、2022ＪＲ総連春闘に大きな励みと勇気をもたらすものです。

ＪＲ総連・加盟各単組は、聚楽労組の奮闘に固く連帯し、職場から交渉を盛り上げ、一体感ある春闘を構築し、要求の前進をかちとろう！！